

CUC公開講座2021 第6回

SDGsに基づく大学の社会的責任
— Society5.0と新たな大学評価指標 —

千葉商科大学 副学長、商経学部教授

学長プロジェクト2リーダー

橋本 隆子

学長プロジェクト2 「CSR研究と普及啓発」



SDGsに基づき、ESGに配慮した真に必要とされるSR (社会的責任、大学ではUSR) の研究、教育、実践



環境・社会に配慮した広義のアセスメント研究・ESG投資

社会的責任の視点からの新しい大学評価指標の開発

エシカル消費（倫理的消費）の啓蒙、教育、グッズの開発

学部を超えた研究・教育活動
2017年度～

本日の講演のポイント

「Society5.0 とイノベーション～スタイルからスタン
スへの社会貢献意欲育成」

by 米澤政洋氏
(一社 Society5.0振興協会特定プロジェクト推進委員長)

「USR活動評価 – 統合報告書による情報開示
のための指標提案」

by 学長プロジェクト2-B USRチーム
(教員+学生)

Society5.0とSDGs

- サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させた社会
- IoT（Internet of Things）で人とモノがつながり、様々な知識や情報を共有
- 気候変動・ヘルスケアなどの社会課題を解決
- ダイバーシティ&インクルージョンの実現



Society5.0が社会貢献マインドを醸成
大学の社会的責任、教育活動への影響

新たな大学評価指標

- 学生とともにUSR（大学の社会的責任、University Social Responsibility）を考える → SDGsに基づく新たな価値観
- 競合調査（私大USR研究会、Green Metric by UI、THE）
- 自己点検 ⇨ 自己評価 ⇨ 指標開発
- 各種学会・シンポジウム・展示会等で積極的に発表
- 大学も統合報告書を発行する時代



学生自身が新たな大学の価値を考える
千葉商科大学の統合報告書への適用

ご期待ください！

- Society5.0・AI で倫理に配慮した社会を作ることができるのか？
- そのためには何が必要か？
- その中で、大学の役割は？

- 大学の新しい価値とは？
- 統合報告書で何をアピールするべきか？

